

歯の衛生週間によせて

①

桐生市歯科医師会

むし歯や歯周病に代表される歯の疾患は、治療する時代から予防する時代に入りました。なぜでしょう。

むし歯や歯周病から自ら守り抜こう

それは「8020」(80歳になるまで自分の歯を20本残すこと)の達成

ります。

歯を失うことは、「年をとれば仕方ないこと」と思っている人はいませんか。年をとると確かに歯はもろくはなり、エナメル質が

という言葉をご存じでしょうか、聞きなれない言葉ですが、これは細菌の増殖する住処

（＝すみか、膜）で、むし歯、歯周病の元凶です。

とをお勧めします。

毎日の自分のブラッシングは、歯科衛生士の適切な指導で、あなたの歯並びや歯の残存状態に合わせて、個別の方法を学ぶことが予防の決め手です。自らで磨いたり洗ったり

成者が20%も増加していることが示すように、歯磨きをきちんと

けることがあります。しかし、それは虫歯ではありません。また、

しっかりブラシで擦り取ることで、予防できますが、これを完全にすると、けっ

りできる臓器は、歯以外にはありません。歯の衛生週間に機会に、



桐生市歯科医師会長

森下正教さん

がでるからです。すなわち、むし歯や歯周病の原因は、毎日の生活習慣ということにな

る原因は、毎日の生活習慣ということにな

「バイオフィルム」と歯石の除去をするこ

さいます。豊かな人生を送ってください。